

# 正論大賞に渡辺利夫氏

## 中国の海洋覇権に警鐘



第27回正論大賞に拓殖大学総長・学長の渡辺利夫（わたなべ・としお）氏（72）＝写真上、第12回正論新風賞に学習院大学教授の井上寿一（いのうえ・としかず）氏（55）＝同下＝がそれぞれ決まった。

渡辺氏は開発経済学、アジア経済研究の権威。高成長を遂げる東アジアにおける中国の海洋覇権主義に警鐘を鳴らし、東アジア共同体の危険性や日米同盟の強化など、日本がとるべき針路についての提言を行ってきた。経済学はもとより政治や安保などカバーする領域



は幅広く、歴史的考察やリアリズムに基づいた大局的な視点が「正論大賞」にふさわしいとされた。

## 新風賞は井上寿一氏

井上氏は日本政治外交史、歴史政策論を専門とする。国家ビジョンの再構築の手がかりを昭和戦前期に求め、その時代の教訓から新しい国家像を模索する試みを続けてきた。米国の関与の重要性を指摘し、日本外交の目指すべき方向性を提唱。昭和史を掘り起こす意欲的な論評が高く評価された。両氏と

も産経新聞「正論」欄執筆された。

筆メンバー。正論大賞はフジサンケイグループの基本理念である「自由と民主主義のために闘う正論路線」を発展させた学者、文化人らに贈られる年間賞で1985年に創設。正論新風賞は、新進気鋭の言論人を見いだして顕彰しており、2000年に制定

正論大賞の正賞はブロンズ彫刻「飛翔」（御正進氏制作）、副賞は賞金100万円、正論新風賞の正賞は同「ソナチネ」（小堤良一氏制作）で、副賞は賞金50万円。

贈呈式は来年2月22日、東京都港区のグランドプリンスホテル高輪で行う。

平成23年12月8日 夕刊フジより